

# 事務事業チェックシート

事務事業No **11276** 事業名 **和歌の浦アート・キューブ管理運営事業（予約システム事**

[事業基本情報]

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	2	芸術・文化活動環境の整備充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	和歌の浦アート・キューブ費		
	大事業	和歌の浦アート・キューブ事業		
中事業	和歌の浦アート・キューブ管理運営事業（予約シス			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	坂井 正二 435-1194
事業実施の根拠法令	和歌の浦アート・キューブ条例、同条例施行規則		関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用		和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用			
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	
	和歌の浦アート・キューブ施設予約システムの運営	和歌の浦アート・キューブ施設予約システムの運営	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用	

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	136	136	136	136	136	136	137	0	138	0	
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.7%	△100%	0.7%	0%	
人件費	正規職員	875	1,034	1,197	1,356	1,199	1,679	1,839	0	1,839	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	248	0	0	0	0
	小計	875	1,034	1,197	1,356	1,199	1,927	1,839	0	1,839	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	136	136	136	136	136	136	137	0	138	0	
所要人数(人)	正規職員	0.11	0.13	0.15	0.17	0.15	0.21	0.23	0.00	0.23	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	機械等借上げ料 136千円										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
施設予約システム整備		件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	0%	%
システムによる予約件数		%	目標値	700	900	900	900	900
			実績値	965	1038	1027		
			達成度(%)	137.9%	115.3%	114.1%	0%	%
			目標値	3100	3200	3200	3200	3200
予約件数(全体)		件	実績値	3432	3328	3099		
			達成度(%)	110.7%	104%	96.8%	0%	%

#### 4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	システムの整備が完了し、平成22年度に供用されたサービスである。より一層の周知利用を促進できるよう努めたい。
見直し・改善内容	システムの運用整備